

【主な対象専門科】

救命救急部、初期急病診療部(内科救急)、集中治療部

【研修目標】

1. 一般目標

- (1) 初期救急診療から重症患者管理まで、総合的な知識・診療手技を習得する。
- (2) 専門各科での研修を行うことにより、より広くより深い診断能力・技術を習得する。

2. 行動目標

- (1) 初期救急から重症患者まで、代表的疾患を理解し経験する。
- (2) 常に自己研修に努め、最新の知識の吸収に努める。
- (3) 適切な病歴聴取・診察・臨床検査等により適切な診断を行い、患者の状態に応じた治療計画を立て実行できる。
- (4) 緊急性を要する手技を、適切かつ安全に施行することができる。
- (5) 専門医療を必要とする疾患であるかどうかを判断し、指導医・専門医に適切に相談することができる。
- (6) 専門医療を必要とする疾患の診療に参加し、診療能力の向上を図る。
- (7) 初期臨床研修医およびレジデントを指導できる。
- (8) コメディカルスタッフとの連携を円滑に行い、チーム医療を実践できる。
- (9) 臨床研究に携わり、その成果(症例報告を含む)を発表できる(学会、研究会、論文)。

【方略】

- (1) 各科・各部門との連携を円滑に行い、集学的治療を運営できる能力を養う。
- (2) 患者の状態を把握し、カンファレンスに臨むことにより、理解を深め治療の方向性を確認する。
- (3) 初期救急、重症患者管理に必要な処置・手技を指導医のもとに実習する。
- (4) 治療に関する計画、経過、評価などを、指導医の添削を受けながら診療録に記載する。
- (5) 年間2回以上の学会発表、1篇以上の論文執筆を行う。

【評価】

上記の行動目標について自己評価を行い、かつ指導者から評価を受ける。

【研修プログラム】

- ・ 1年次(卒後3年目)～2年次(卒後4年目)は、ローテート(必修)期間とする。原則として初期急病診療部(内科救急)6ヶ月、救命救急部6ヶ月、集中治療部6ヶ月を研修する。残りの期間については、院内全診療科の中から選択して研修する。なお、ローテート診療科及び時期については、本人の希望を基に、教育研修センターが調整し決定する。
- ・ 3年次(卒後5年目)は、進路希望の科を含めた科から選択し研修する。

1年目(卒後3年目)	2年目(卒後4年目)	3年目(卒後5年目)
救急・集中治療系各科をローテート	救急・集中治療系各科をローテート	救急・集中治療系各科をひとつあるいは複数選択

【見学等問い合わせ先】

教育研修センター部長 川崎 靖子